

スピリチュアル物語

159話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

Skypeセッション 1時間\$75 90分\$110

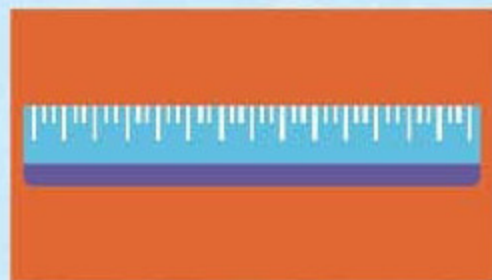
メール相談 簡易コース\$11 / 通常コース\$33



「成程、未来を予測する力としては予知能力と想像力があつて、その双方のバランスが大切というのには解りました。が、想像力には未来予測の他に、相手の気持ちや感情を慮る力という側面もあると157話で仰っていましたよね？自分の想像と相手の気持ちが違うことがあるのは、想像力不足なのでしょうか」マジョリアが再び質問する。「力が不足しているというよりも使い方じゃない。ずっと前の51話で話した物差しを憶えておるかな？」マグワートの質問に「物差し？」ウイザットが視線を左上へと向

け記憶を辿っている間に、「ええと…相手の立場になつて考えている積もりでも、自分の物差しで相手の立場になつていると思い込んでいられるかも知れないっていうお話でしたっけ？」マジョリアのほうから先に思い出し、そう言った。「そうじゃ。つまり、51話の話は思いやりに関してだったが、相手の気持ちや感情を想像する際にも、自分の物差しのみで決め付けてしまうと実際の相手の気持ちや感情とは違つてしまう」ということにもなる訳じゃ」となると、51話同様に、どう想像しても人は完全に相手の気持ち

ちや感情を想像し切れないけれども、肝心なのは、相手の気持ちや感情は自分の想像とは違う場合もある、ということを知っている、ということですね？」その通りじゃ。自分の想像では相手はこういう気持ちや感情であろう、けれども、実際はどうなんだろう、と常に慮ることこそが、想像力の愛ある使い方と言えるのではなからうか」



★これまでのお話(1~158話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 4月22日号につづく